

令和3年度 長崎県学力調査結果の概要

<速報版>

I 調査の概要

1 調査目的

本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てるとともに、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証して学力向上対策の一層の充実を図る。

2 調査実施期間・調査内容

○令和3年5月27日(木)、28日(金)

- ・小学校調査(国語・算数：第5学年：40分)
- ・中学校調査(国語・数学：第2学年：45分)
(英語 : 第3学年：45分)

3 調査実施校数及び児童・生徒数

(1) 調査実施校数 480校

(2) 調査実施児童・生徒数

小学校第5学年	11,173人
中学校第2学年	10,447人
中学校第3学年	10,369人

Ⅱ 結果の概要

1 出題の考え方

- 学習指導要領が目指す学力像を示し、授業で身に付けさせたい資質・能力に視点をあてたもの。
- 学習指導要領が求める基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を問うもの。
- 学習指導要領の内容の定着状況を把握するとともに、過年度の課題を検証する。
- 各教科の平均正答率の目標値（以下「目標値」とする）を60%とする。

2 県全体の平均正答率（%）

	小学校		中学校		
	第5学年		第2学年		第3学年
	国語	算数	国語	数学	英語
令和3年度	60.0	64.9	61.6	49.2	56.6
平成31年度	58.1	60.6	67.5	57.6	
平成30年度	58.5	62.5	65.3	53.1	53.1
自校					

3 結果の総括

- 小学校においては、国語は目標値と同等となり、算数は目標値を上回った。
- 中学校においては、国語は昨年度に引き続き目標値を上回り、数学と英語は目標値に至らなかったが、英語は平成30年度より平均正答率が上昇した。

<参考資料>

平均正答率が6割以上の児童生徒の割合

	小学校（国・算）	中学校（国・数）	県全体
H30, H31, R3	58.6	53.3	56.0
H27~H29	51.9	46.8	49.3
差	6.7	6.5	6.7

※3年間ごとの割合の平均（%）

- 小・中学校を通して、H27~H29の3年間よりもH30~R3の3年間の割合が向上している。

4 各教科における課題

(太字は令和元年度に設定した重点課題)

		課 題	問題番号	平均正答率	
				県	自校
小学校	国語	条件に合わせて書く	2一	41.5	
		主語と述語との関係を捉える	3一(1)① ②	46.0 48.4	
	算数	資料の整理と読み	4(2)	34.6	
		計算の仕方を説明する	3(2)①	37.1	
中学校	国語	複数の情報を整理し、条件に合わせて書く	3三	40.4	
		文章の内容を捉えて説明する	2五(3)	21.2	
	数学	一次方程式を解く	2(2)	45.5	
		事象を多面的に見て説明する	6(2)	19.9	
		データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断する	9(2)	43.9	
	英語	適切な表現をする	9(3)	13.8	
		自分の考えを書く	10① ② ③	40.6 22.9 44.7	

3-1-1-2 主語と述語との関係を捉える

・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題です。

一 野田さんは、作品のおもしろさを見つけるために、物語を読み返しています。次の問いに答えましょう。

(1) 野田さんは、――部Aの文の意味をたしかめています。この文の、①主語と②しゅつ語にあたる言葉を、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

ソメコ 1 いくらでも 2 遊んでくれる 3 おじさんが 4 来た。 5

ソメコとオニ

ソメコは五つだ。ソメコは毎日たたくつしていた。大人たちは、なんてつまらない毎日を送っているんだろう。ソメコのように、いっしょけんめいに遊んだり、生活したりしている者は、だれもいない。

ソメコが、少しおもしろくなって、少しむちゅうになると、大人たちは、もうべいこうして、

「ソメコ、あっちを行って遊べ。いい子だからな。」

つて言つて、行つてしまふ。おとも、おつかあも、あんちゃんも、姉ちゃんもそうだ。村のおじさん、おばさんたちは、遊んでくれさえもしない。顔を見せると、

「あちさに行け、あちさ。一人で遊べ。いい子だからな。おばさんは仕事でいそがしいんだ。」

そう言う。

2

ところがある日、ソメコといくらでも遊んでくれるおじさんが来た。ソメコは、門で草をつんでいた。草は、こそだ。草つ原はおさしてきた。

斎藤隆介

「いただきます。なんと、本日はいいお天気です。まず、えんりょうなく、あがつてたんせ。」

ソメコが一人で遊んでいたら、

「なんと、ごちそうさんと、あんす。せば、えんりょうなく、いただくす。」

そう言つて、一人のおじさんが前へすわりこんだ。少しじこやら、こわい顔をしているんだけど、ソメコは、よろこんじまつて、どうのおだんごですすめてしまった。

「まんす、まんす、こはんがすすみなしたら、このだんごも一つ、あがつてたんせ。」

「はい、ムゴムゴ、ム、これはンマイ、これはンマイ！」

じここわい顔をしたおじさんは、うまそうにじろだんごを食べ、まねまでしてくれた。

①

こうしてソメコは、オニにさらわれて、オニの岩屋まで来た。来た。

ソメコは、うちのものはなれてたつた一人岩屋につれてこられても、ないたりなんかしなかつた。それどころか、――さあ、おじさんと二人つきりで遊べるぞ！ と、はりきつていた。つれてら

3 野田さんの学校では、斎藤隆介さんが書いた物語のおもしろさについて、友達とよく話し合っていました。野田さんは、ソメコとオニという物語を選んで読みました。次の「ソメコとオニ」を読んで、あとの問いに答えましよう。



<改善のポイント>

平成31年度と同趣旨問題における正答率は46.1%、今年度の正答率は46.0%であり、「主語と述語との関係を捉える」ことについては、課題と捉えています。

主語と述語との関係は、文の骨格をなし、明確な文を書く上で最も基礎となるものです。読んだり表現したりするときに、主語と述語の適切な係り受けについて意識できるように指導することが必要です。書くことの学習とも関連をとり、児童が自分で書いた文や文章を、主語と述語との関係に注意しながら丁寧に読み返していく習慣を付けることも大切です。

【読解力育成の視点：係り受け解析】

なお、この「主語と述語との関係を捉える」ことについては、読解力の育成において重要となる能力です。

☆平均正答率 (%)

	3-1-1-1	3-1-1-2
県	46.0	48.4
市町		
自校		

<自校の改善のポイント>

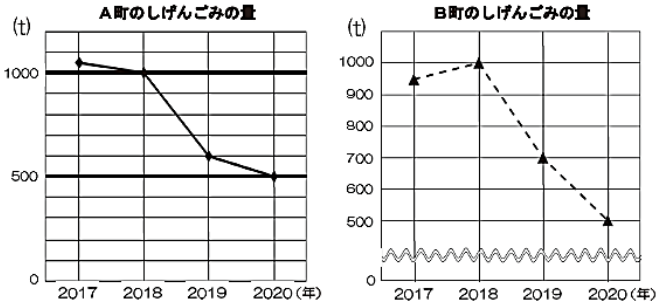
小学校算数

4 (2) 資料の整理と読み **重点課題**

- 複数のグラフを関連付けて考察し、根拠を明確にして説明できるかどうかをみる問題です。

4 花子さんは、社会科の学習で、ごみの量について調べました。

(1) 花子さんは、まず、自分が住むA町と、となりのB町のしげんごみの量をくらべました。



① 次のア、イに答えましょう。

(93.5%)

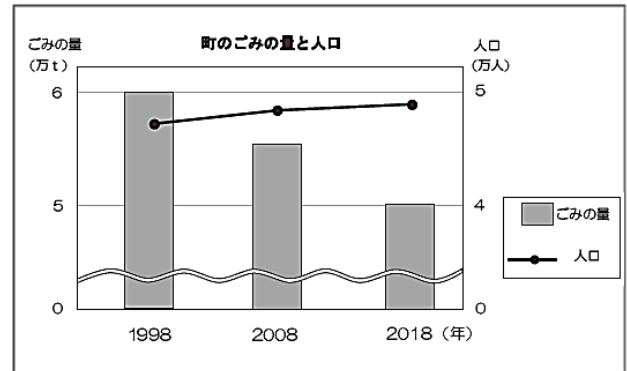
ア 2018年のA町のしげんごみの量は何tですか。

イ 2019年から2020年の間に、B町のしげんごみの量は何tへりましたか。

② 2つの折れ線グラフから分かることを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 2018年から2020年の間に、しげんごみの量は、A町よりB町のほうがへっている。
- 2017年のしげんごみの量は、A町よりB町のほうが多い。
- 毎年、A町もB町もしげんごみの量がへっている。
- 2020年のしげんごみの量は、A町もB町も同じである。

(2) 花子さんは、自分が住んでいるA町のごみについて、さらにくわしく調べようと思いました。そこで、役場の人から「町のごみの量と人口」というグラフを見せてもらいました。



花子さんは、グラフを見て次のように言っています。



花子さん

わたしの住む町では、1998年から2018年までの20年間で、人口は少しずつ増えているよ。でも、ごみの量は、半分くらいにへっているね。

花子さんが言っていることは、**正しくありません**。その理由を、言葉と数を使って説明しましょう。

(34.6%)

<改善のポイント>

4 (1) ①アのように、一つのグラフから数値を読み取る問題の正答率は93.5%と高い一方で、(2)の複数のグラフを関連付けて考察する問題では、34.6%と正答率が大きく下がっています。

複数のグラフを考察する場合にも、まず、表題、それぞれのグラフが表している事象、左右の縦軸が表している内容と1目盛りの大きさを確認するという、グラフの基本的な読み取り方を繰り返し指導することが必要です。

また、グラフから読み取った内容について、児童が根拠を明確にして説明したり、互いが読み取ったことが正しいのかどうかについて検討したりすることが大切です。

【読解力育成の視点：イメージ同定、推論】

☆平均正答率 (%)

県	34.6
市町	
自校	

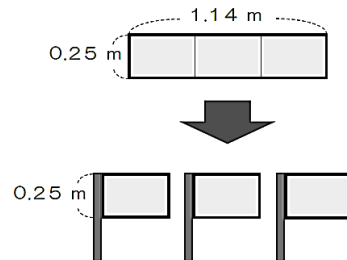
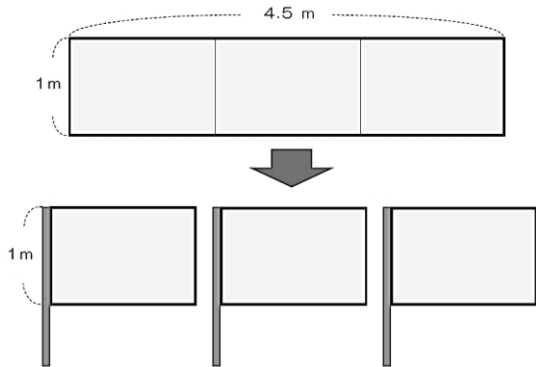
<自校の改善のポイント>

3 (2) ① 計算の仕方を説明する

・示された計算の仕方を基に、数を構成する単位に着目して小数÷整数の計算の仕方を考えることができるかどうかをみる問題です。

(2) まさとさんたちは、たて1m、横4.5mの黄色のぬのを使って、おうえんするときに使う大きな旗を3つ作ります。

ゆうこさんは、たて0.25m、横1.14mの水色のぬのを使って、まさとさんよりも小さめの旗を3つ作ることにしました。



黄色のぬのの横の長さを3等分する $4.5 \div 3$ の計算の仕方について、まさとさんは、下のように考えました。

ゆうこさんは、左のページのまさとさんの考え方をもとにして、水色のぬのの横の長さを3等分する $1.14 \div 3$ の計算の仕方を考えました。



まさとさん

$4.5 \div 3$ の計算の仕方を考えます。
 4.5 は、 0.1 の 45 ぶんなので、
 $45 \div 3 = 15$
 商の 15 は、 0.1 の 15 ぶんなので、
 旗の横の長さは 1.5 m です。



ゆうこさん

まさとさんは、 $4.5 \div 3$ の計算の仕方を、
整数の計算をもとにして考えたんだね。



ゆうこさん

$1.14 \div 3$ の計算の仕方を考えます。
 1.14 は、

① ゆうこさんの考えの続きを、言葉や数、式を使って書きましょう。

<改善のポイント>

③(2)①は、他者の解決方法を基に、別の場面の解決方法について考え説明する問題です。まさとさんが 0.1 を基にして考えていることに対し、ゆうこさんの考えを説明するためには 0.01 を基に考える必要があったこと、また、穴埋めではなく記述式であったことが、正答率が低くなった要因だと考えられます。

計算の指導では、計算が確実にできるとともに、その計算の意味を説明する力が求められます。例えば、一つの問題を解決後、すぐに計算練習に移るのではなく、場面や数値を変えた他の問題の解決方法を説明する活動を行うことも大切です。

【読解力育成の視点：推論】

☆平均正答率 (%)

県	37.1
市町	
自校	

<自校の改善のポイント>

3 三 複数の情報を整理し、条件に合わせて書く **重点課題**

- 自分が伝えたい事柄を踏まえて、言葉の意味に着目して適切な根拠を書くことができるかどうかをみる問題です。

条件1 選んだ【言葉の候補】について、「辞典の記述」の中のような意味に着目したのか具体的に書くこと。
条件2 壁新聞の考察の内容に関連付けて書くこと。

【言葉の候補】

A (こころ)
B てきぱき
C せっせ

【スローガンの案】

テスト勉強は、
と！

【辞典の記述】

(こころ) ①物事に絶えず精進する様子
②休まず目立たない努力を続ける様子
③休まずよく物事を進める様子

てきぱき ①手際よく物事を進める様子
②言葉や態度がはつきりした様子

せっせ ①一心に物事を行う様子
②わきまもふらず、熱心に物事をする様子

三 伊藤さんは、壁新聞づくりをおして考えたテスト週間の過ごし方についてのスローガンを、最後の□に入れることにしました。次は、作成している「スローガンの案」とそのスローガンの□の部分に入れる「言葉の候補」、伊藤さんが見ている「辞典の記述」です。あなたなら、【言葉の候補】の中どの言葉を選びますか。AからCまでの中から一つ選び、【言葉の候補】の中どの言葉を選んでいいか、不安に感じているのではないかと思います。そこで今回は、「テスト週間の過ごし方」について、二年生のアンケートをもとにまとめました。ぜひ、これからのテスト勉強に役立ててみてください。

江戸町中学校二年生に聞く！

テスト週間の過ごし方

【テストまで、あと二週間！】
一年生のみなさん、こんにちは！
初めてのテストまで、いよいよあと二週間となりました。テストに向けての勉強は進んでいますか。①入学して一ヶ月が過ぎて、小学校まではなかった部活動が本格的に始まり、中学校生活で初めてとなるテストに向けた勉強にも取り組んでいかなくてはなりません。一年生のみなさんは、テストに向けてどのような過ごし方を目指しているのか、不安に感じているのではないかと思います。そこで今回は、「テスト週間の過ごし方」について、二年生のアンケートをもとにまとめました。ぜひ、これからのテスト勉強に役立ててみてください。

【壁新聞】

3 江戸町中学校の二年二組では、国語の授業において、一年生に向けて学校生活についての壁新聞を作っています。伊藤さんのグループは「テスト週間の過ごし方」をテーマにしています。次は、伊藤さんのグループが作成した「壁新聞」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【テスト週間の過ごし方のポイント】

【テスト勉強を始める時期と人数】

【考察】

テスト勉強を始める時期は、「一週間前」と答えた人が最も多い結果となりました。しかし、二週間前やそれ以上前から取り組む人も41%に上ります。中学校のテストは範囲が広いので、地道な努力を重ねている人が多いです。また、テスト週間の過ごし方のポイントとして、24%の人が「メディアを使用しない」と答えました。やはり、テスト週間は、勉強に集中するためにメディアに触れないよう、心がける人が多いのではないでしょうか。余裕をもって計画的に取り組む、誘惑に負けず、着実に行動に移す努力が大切です。

【最後に】

私たち二年生も、昨年受けた初めてのテストはとんでも緊張しました。終わったあとに後悔した人もいました。一年生のみなさんは上のグラフや考察を参考にしながら、テスト週間の過ごし方を考えてください。

テスト勉強は、
と！

<改善のポイント>

令和2年度の全国学力・学習状況調査と同じ出題形式の問題です。平成30年度県学力調査の同趣旨問題と比較すると、正答率は3.3ポイント上昇しているものの、40.4%とまだ低い状況であり、継続課題と捉えています。

「根拠を明確にして書く」ためには、自分の考えや思いを書くだけではなく、確かな事実や事柄に基づいた根拠が明確に書かれているかどうかを、常に吟味することが大切です。

例えば、目的に応じて文章から必要な情報を根拠として取り出し、自分の考えを書くなどの学習活動が考えられます。その際、取り出した情報が自分の伝えたいことを支える根拠となっているかという視点を基に、生徒同士で推敲を行うことも有効です。

【読解力育成の視点：推論】

☆平均正答率 (%)

県	40.4
市町	
自校	

<自校の改善のポイント>

6 (2) 事象を多面的に見て説明する

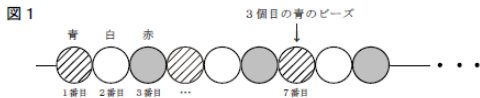
- ・事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて説明することができるかどうかをみる問題です。

6 下のように、青、白、赤のビーズを糸に通してネックレスを作ります。



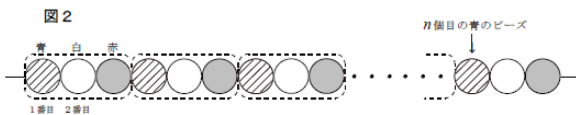
このとき、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 下の図1のように、3個目の青のビーズを糸に通すのは7番目になります。



5個目の青のビーズを糸に通すのは何番目になるか答えなさい。

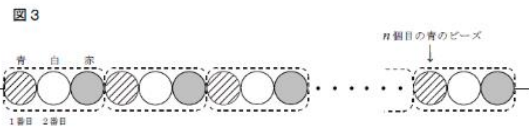
(2) n 個目の青のビーズを糸に通すのは何番目になるかを考えます。図2のように青、白、赤の3つのビーズを1つのまとまりとして考えると、 n 個目の青のビーズを糸に通すのは、 $\{3(n-1)+1\}$ 番目になります。



このことは、次のように説明できます。

【説明】
 n 個目の青のビーズを糸に通すまでに、青、白、赤の3つのビーズのまとまりを $(n-1)$ 回通すことになるから、 n 個目の青のビーズを通すまでに、 $3(n-1)$ 個のビーズを通したことになる。
 よって、 $3(n-1)$ 個のビーズに青のビーズ1個を加えれば、 n 個目の青のビーズを糸に通すのは何番目になるのが求められる。
 したがって、 n 個目の青のビーズを糸に通すのは、 $\{3(n-1)+1\}$ 番目になる。

下の図3のように、青、白、赤の3つのビーズのまとまりを n 回通したとして、 n 個目の青のビーズを糸に通すのは何番目になるのかを求めることもできます。次の【説明】の中の①から③に適切な数や式を入れ、【説明】を完成させなさい。



【説明】
 青、白、赤の3つのビーズのまとまりを n 回通したとすると、全部で①個のビーズを通したことになる。
 よって、①個のビーズから白と赤のビーズを合わせた②個をひけば、 n 個目の青のビーズを糸に通すのは何番目になるのが求められる。
 したがって、 n 個目の青のビーズを糸に通すのは③番目になる。

☆平均正答率 (%)

県	19.9
市町	
自校	

<改善のポイント>

(1)のように、具体的な場合について問う問題の正答率は例年8割を超えているのに対し、(2)のように、文字を用いて一般化したり発展的に考えたりする問題の正答率は、2割前後で推移しています。

指導に当たっては、数量の関係を式に表し、その式を問題に即して説明できるようにすることが大切です。また、解決の視点を明らかにして考察し、様々な式を見いだすとともに、見いだした式を基に問題を振り返るなど、多面的に見ることができるよう指導することも重要です。

【読解力育成の視点：イメージ同定】

<自校の改善のポイント>

9 (2) データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断する

- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題です。

9 一郎さんが通う中学校の生活委員会では、生徒の通学時間を調べ、月間遅刻ゼロ運動の資料にしようと考えています。そこで、生活委員会の一郎さんと春子さんは、全校生徒240人を対象に、通学時間についてのアンケートを実施しました。春子さんは、実施したアンケートをもとに、通学時間について次のような表にまとめました。

通学時間のアンケートの結果

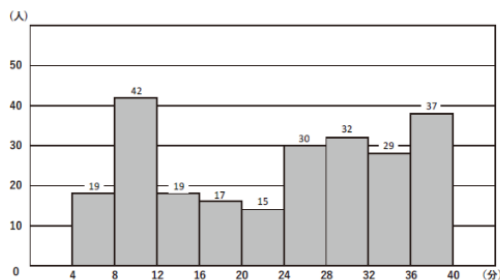
	平均値	中央値	最頻値	最大値	最小値
通学時間(分)	23.2	25	10	39	4

(1) 春子さんが作った表から、通学時間について、正しく述べているものを、次のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 240人のうち、120人の通学時間は23分以上である。
- イ 240人のうち、通学時間が39分かかる生徒がもっとも多い。
- ウ 240人の通学時間の分布の範囲は、35分である。
- エ 240人の通学時間の合計は、6000分である。

(2) 一郎さんは、全校生徒の通学時間の分布の様子を、次のようなヒストグラムにまとめました。一郎さんが作ったヒストグラムでは、例えば、通学時間が24分以上28分未満の生徒が30人いたことを表しています。

全校生徒の通学時間の分布



2人は、春子さんが作った表と一郎さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

春子さん 「表に示したように、通学時間の平均値は23.2分だから、通学時間が23分くらいかかる生徒が多いと言えそうだね。」

一郎さん 「でも、ヒストグラムを見ると、通学時間が23分くらいの生徒が多いとは言えないのではないかな。」

一郎さんが作ったヒストグラムを見ると、春子さんの考えは適切でないことが分かります。その理由を、一郎さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

<改善のポイント>

新学習指導要領において、統計的な内容等の改善・充実が求められているにも関わらず、本問の無答率は23.5%と高い結果になりました。

データの傾向を読み取って判断する学習では、まず、相対度数などの用語や代表値の意味を丁寧に確認することが必要です。その上で、代表値を求めたり、データの分布の様子を読み取ったりする場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて、批判的に考察し判断できるように指導することが大切です。

【読解力育成の視点：具体例同定、推論】

☆平均正答率 (%)

県	43.9
市町	
自校	

<自校の改善のポイント>

9 (3) 適切な表現をする **重点課題**

- ・与えられた会話のやり取りの内容から推測し、自分の発言として適切な英文を書くことができるかどうかをみる問題です。

(3) Bob : I go to AJISAI Stadium on Sundays.
 Ken : ()?
 Bob : To practice soccer.
 Ken : Do you enjoy playing soccer?
 Bob : Yes! It's really exciting!

<改善のポイント>

「To+不定詞～」の返答から「Why～？」の疑問文を導き出す問題です。「Why～？」であれば「Because～」という一辺倒な学習だけで対応することは難しく、幅広い表現の指導が求められます。

また、思考力・判断力も求められる問題であり、授業では、コミュニケーションの場面や状況などを意識した活動を取り入れることが必要です。その上で、読むことにおいても場面や状況を推測し、適切な表現を考えさせるようにします。

【読解力育成の視点：推論】

併せて、本問における誤答から、文法事項のどこにつまずきがあるのかを丁寧に分析し、従来のパターンプラクティスや練習問題に取り組みさせることも必要です。

☆平均正答率 (%)

県	13.8
市町	
自校	

<自校の改善のポイント>

10 自分の考えを書く **重点課題**

- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題です。

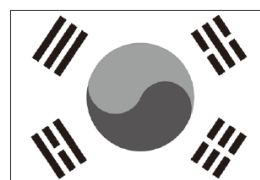
10 あなたの住む町では、アメリカ、オーストラリア、韓国の3か国と交換留学を行っています。あなたは、今年の交換留学プログラムに応募したいと考えています。希望する留学先を1か国選び、行きたい国とその理由を20語以上の英語で書きなさい。



America



Australia



South Korea

<改善のポイント>

令和元年度の全国学力・学習状況調査で正答率が1.2%と極めて低かった問題形式です。選択肢の中から1つを選び、理由も含めて指定された語彙数で書くという問題形式であり、単元末のパフォーマンステスト等で継続して取り組ませなければ対応できません。

まとまりのある文章を書かせる場面では、考えや理由を口頭で伝え合わせた後に、書かせることも有効です。その際、時間を制限したり、語数を指定したりして取り組ませることで、素早く英文をつむぎ出そうとする姿勢を習慣化できます。

また、3つの視点による評価を念頭に置くことも重要です。特に正答率の低かった文法の正確性を向上させるためには、コミュニケーションに英語で授業を行う時間と日本語で文法を説明する時間を明確に分けて指導することが大切です。

☆平均正答率 (%)

	①語彙の適切性	②文法の正確性	③論理性
県	40.6	22.9	44.7
市町			
自校			

<自校の改善のポイント>

3 6つの問題分野（特に、「係り受け解析」「照応解決」「イメージ同定」「具体例同定」）を日頃の授業づくりの視点に加える。

6つの問題分野（6分野7項目）を日頃の授業づくりの視点に意識して加え、読解力の育成を図ることが大切です。

係り受け解析	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が意図的に主語や述語、目的語などを問う。 → P8（小国）
照 応 解 決	<ul style="list-style-type: none"> ・「それ」「これ」などの、指示代名詞が示す言葉や内容について、線を引くなどして読み取らせ、全体で確認する。 → P8（小国）、P9（中社） ・省略された主語や目的語を補うように指示する。
同 義 文 判 定	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の意見や考え方が同じかどうか、グループで話し合わせる。 → P8（小理）、P10（中理） ・自分の意見や考え方がモデルと同じかどうか考えさせる。
推 論	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項等を根拠として新しい知識を獲得させたり、考察させたりする。 → P8（小理）、P10（中理） ・文章中に書かれている内容等について、根拠を明確にして自分の考えを述べさせる。
イ メ ー ジ 同 定	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取ったことを絵や図、表などを用いて整理させる。 → P7（小算）、P9（中社） ・図や表、グラフから読み取ったことを、言葉や文章で表す活動に取り組ませる。 → P9（中数）
具 体 例 同 定	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の定義や意味を正しくおさえた上で、考えたり話し合ったりする活動に取り組ませる。 → P9（中数）、P10（中理） ・様々な事例や自分の書いた文章が、定義に合っているか確認させる。

次ページから、6つの問題分野（6分野7項目）を視点に加えた授業実践事例を紹介します。



特別な取組を始めるのではなくて、普段の授業で使っている言葉を見直したり、これまでの手立てに読解力育成の視点を加えたりしていけばいいですね。

6 各教科の設問別正答率

<小学校国語>

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一	質問の仕方の工夫として適切でないものを選択する	目的を意識した質問の仕方の工夫を捉える	59.3 39.4 1.4
	二	【しつ問メモ】の「A」に入る内容として適切なものを選択する	目的を意識して必要な内容を捉える	59.5 39.2 1.3
	三	【保健室の先生へのしつ問の様子】の「ア」に入ることわざについて書かれたカードとして適切なものを選択する	ことわざの意味を知り、正しく使う	55.8 42.5 1.7
	四	<発表のまとめの部分>の一部「いつでも」を強調して話す理由を書く	話の中心や話す場面を意識して、話し方を工夫する	42.8 53.4 3.7
	五	「みゃく」をローマ字で書く	ローマ字で正しく書く	56.6 35.0 8.4
2	一	【ほうこくする文章】の「A」に生き物の命がおびやかされている事例を書く	自分の考えを支える事例を書く	41.5 52.5 6.1
	二 (1) ア	漢字を書く ア かるく	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく読む、書く	63.8 30.4 5.8
	二 (1) ウ	漢字を書く ウ せかいじゅう		76.8 21.1 2.1
	二 (2) イ	漢字を読む イ 便利		89.0 9.3 1.6
	二 (2) エ	漢字を読む エ 苦しめて		91.3 7.1 1.6
	二 (3)	主語と述語のつながりに気をつけて「B」の文を書き直す		文を正しく書き直す
	三	田中さんの【ほうこくする文章】のよいところとして適切でないものを選択する	文章のよいところを見付ける	56.1 39.8 4.0
3	一 (1) ①	文の中から主語と述語を選択する	文の中における主語と述語との関係を捉える	46.0 49.9 4.1
	一 (1) ②			48.4 47.3 4.4
	一 (2)	【ソメコとオニ】の一部B「はりぎっていた」ときのソメコの気持ちの説明として適切なものを選択する	叙述を基に、登場人物の気持ちを捉える	79.1 15.8 5.1
	二 (1)	ソメコの性格の根拠となる叙述を選択する	登場人物の性格の根拠となる叙述を捉える	51.6 41.1 7.3
	二 (2)	オニの気持ちが変化した理由の説明として適切なものを選択する	登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて想像する	56.7 36.3 7.0

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)	
1	(1) ア	代金を求める式から、買った野菜とその個数を読み取る	問題場面と関連付けて式の意味を読み取ることができる	83.5 15.8 0.7	
	(2) ①	① イ	2つの数量の関係を図を用いて表現することができる	72.8 25.9 1.3	
		① ウ		78.3 20.5 1.2	
	②	にんじんの値段を求めるための立式をする	もとにする量を求めるための立式ができる	79.6 18.3 2.1	
2	(1)	平行な直線の作図の根拠となる、平行な二直線の性質を選ぶ	平行な二直線の性質を用いて作図する方法を理解している	33.8 64.9 1.3	
	(2)	平行四辺形の性質ではないものを選ぶ	平行四辺形の性質を理解している	76.5 22.6 0.9	
	(3)	平行四辺形が2つ組み合わさってきた図形の名称を答える	ひし形の性質を理解している	32.6 64.4 3.0	
	(4)	平行四辺形が横に5つ並んだときの周りの長さを求める	平行四辺形の個数と周りの長さの關係に着目し、図や表を用いて長さを求めることができる	72.7 26.1 1.2	
3	(1)	ア	分数の意味や表し方について理解している	77.1 21.1 1.8	
		イ		64.1 33.7 2.2	
		ウ		54.6 42.6 2.8	
	(2)	①	横の長さが4.5mの布を3等分するときの計算の仕方を基に、横の長さが1.14mの布を3等分した長さを求める	数を構成する単位に着目して小数÷整数の計算の仕方を記述することができる	37.1 55.6 7.2
		②	1.14mを□cmと表す	小数で表された長さの単位について理解している	77.2 20.1 2.8
(3)	40mハードル走の目標タイムを求める	加法と乗法の混合した6.7+0.3×4の正しい計算の順序が分かる	63.6 34.5 1.9		
4	(1)	① ア	適切な折れ線グラフを判断し、必要な情報を読み取ることができる	93.5 5.2 1.3	
		① イ		77.6 20.9 1.5	
		②		2つの折れ線グラフから読み取ることができる情報を選ぶ	折れ線グラフでは、縦軸の幅を変えることによって見え方が異なることに気付き、正しく情報を読み取ることができる
	(2)	折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフから、ごみの量と人口の変化を読み取り、間違いの理由を説明する	折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフを関連付けて読み取り、ごみの量と人口の変化の關係について、判断することができる	34.6 53.2 12.1	

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	一	(1) アドバイスの意図を考える	スピーチの冒頭で聞き手を引き付けるように話す	86.9 12.9 0.2
		(2) 伝えたい内容の言い換えを考える	話の構成を工夫しながら、意図が明確に伝わるように話す	50.6 43.2 6.2
		(3) 効果的なスピーチの間の取り方を考える	相手に伝わりやすいように適切な箇所を間を取って話す	38.2 61.4 0.4
	二	1 話合いの中から必要な情報を集める	会話や資料から必要な情報を取り出し、整理する	61.0 36.0 3.0
		2 話合いの中から必要な情報を集める	会話や資料から必要な情報を取り出し、整理する	52.8 43.7 3.5
	三	相手に分かりやすい語句を選択する	聞き手が分かりやすい言葉で話す	52.0 47.3 0.7
2	一	適切な接続語を選ぶ	文脈を捉え、接続語として適切なものを選ぶ	94.5 5.1 0.4
	二	適切な副詞を選ぶ	文脈を捉え、副詞として適切なものを選ぶ	88.4 11.0 0.5
	三	文の成分を捉える	主述の関係を捉え、適切なものを選ぶ	78.2 21.0 0.9
	四	I 漢字を書く（ヒジョウ）	文脈に即して漢字を正しく書く	74.7 12.9 12.4
		II 漢字を読む（旗）	文脈に即して漢字を正しく読む	96.7 2.0 1.3
		III 漢字を書く（もえ）	文脈に即して漢字を正しく書く	82.3 10.9 6.8
	五	(1) 内容を捉え正しいものを選択する	描写に注意して読み、内容を捉える	67.2 31.6 1.2
		(2) 内容を捉えて本文から抜き出す	描写に注意して読み、内容を捉える	67.0 19.5 13.5
		(3) 内容を捉えて説明する	描写に注意して読み、内容を捉える	21.2 55.0 23.8
	六	文章の表現の特徴を捉えて選択する	文章の表現の特徴を捉える	48.5 49.6 1.9
3	一	一文を二文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、分かりやすく書く	27.3 62.1 10.6
	二	語句を書き換えた意図を選択する	論の展開にふさわしい語句や文の使い方を考える	42.1 56.4 1.5
	三	根拠を示して書く	伝えたい事柄を踏まえて、言葉の意味に着目して適切な根拠を書き加える	40.4 53.4 6.2

大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
1	(1)	-4^2 を計算する	累乗の計算ができる	64.5 34.9 0.6
	(2)	42を素因数分解をする	自然数を素数の積で表すことができる	47.5 39.2 13.3
2	(1)	$4(x+3)+2(3x-5)$ を計算する	一次式の加法と減法の計算ができる	81.3 16.7 2.1
	(2)	一元一次方程式 $2x=1/3x+5$ を解く	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	45.5 40.0 14.4
3	(1)	ねじれの位置にある辺の数を求める	空間における直線と直線との位置関係(ねじれの位置)を理解している	67.7 30.9 1.4
	(2)	①円錐の側面のおうぎ形の弧の長さを表す式を選ぶ	おうぎ形の弧の長さを求めることができる	42.0 56.4 1.5
		②円錐の体積を求める	円錐の体積を求めることができる	33.6 55.2 11.1
4	(1)	比例 $y=3x$ について、正しくない記述を選ぶ	比例の意味を正しく理解している	51.2 47.9 0.9
	(2)	点(2, 5)を通る反比例のグラフについて、 y を x の式で表す	反比例のグラフから、 x と y の関係を式に表すことができる	35.1 53.7 11.3
5	(1)	生徒60人の上体起こしの結果をまとめた度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	度数分布表から、ある階級の相対度数を求めることができる	53.2 34.2 12.6
	(2)	生徒60人の上体起こしの結果をまとめた度数分布表から、ある階級の累積度数を求める	度数分布表から、ある階級の累積度数を求めることができる	70.5 20.1 9.4
6	(1)	5個目の青のビーズを糸に通すのは何番目になるかを求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	83.9 14.6 1.4
	(2)	n 個目の青のビーズが、左から数えて何番目になるかを説明する	与えられた説明を参考に、問題解決の方法を数学的に説明することができる	19.9 71.7 8.4
7	(1)	$\angle AOB$ の二等分線について、正しくない記述を選ぶ	角の二等分線の作図の方法を理解している	54.9 43.9 1.2
	(2)	花子さんの家の位置を作図によって求める方法を説明する	条件を基に、問題解決の方法を数学的に説明することができる	24.7 47.9 27.4
8	(1)	2つのグラフの特徴について、正しい記述を選ぶ	グラフから、正しい情報を読み取ることができる	62.1 36.0 1.9
	(2)	2つのグラフの2点のとり方について正しいものを選び、震源からの距離を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	12.9 57.7 29.4
9	(1)	通学時間について調べたことについて、正しい記述を選ぶ	平均値、中央値、最頻値、範囲の意味を理解している	40.9 56.0 3.1
	(2)	「通学時間が23分くらいかかる生徒が多い」という考えが適切でない理由をヒストグラムの特徴を基に説明する	データの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	43.9 32.5 23.5

部	大問	小問	設問の概要	出題の趣旨	正答率・誤答率・無答率(%)
I部 (聞くこと)	1	1	道具の用途を正しく説明している英文を聞き取り選択する	ある状況や場面、事物を描写説明した単文レベルの英文を正しく聞き分ける	94.7 5.1 0.2
		2	就寝時刻を正しく説明している英文を聞き取り選択する		70.0 29.9 0.2
		3	グラフについて正しく説明している英文を聞き取り選択する		66.9 32.9 0.2
	2	1	親子の会話を聞き、あとの質問に対する答えとしてノートがある場所を表す絵を選択する	自然な口調で話される日常的な話題についての対話を聞き、情報を正確に聞き取る	35.5 64.3 0.2
		2	店での会話を聞き、あとの質問に対する答えとして商品の値段を表す絵を選択する		49.5 50.3 0.2
		3	二人の会話を聞き、あとの質問に対する答えとして智子のメモを表す絵を選択する		86.0 13.8 0.2
	3	1	イベントの内容に関する情報を聞き取り、正しい答えを選択する	まとまりのある英語(館内アナウンス)から、イベントの内容、時間、場所を聞き取る	55.2 44.5 0.3
		2	時間に関する情報を聞き取り、正しい答えを選択する		46.5 53.1 0.4
		3	場所に関する情報を聞き取り、正しい答えを選択する		75.4 24.2 0.4
II部 (読むこと)	4	(1)	文脈から判断し、「動物園」という意味の名詞zooを選択する	単文レベルの英文の中で文脈的なつながりを理解し、正しい文法や適切な語彙を用いた表現を判断する	93.8 6.1 0.1
		(2)	文脈から判断し、「食べるもの」となるよう動詞eatを選択する		91.5 8.4 0.1
		(3)	文脈から判断し、主節の理由を説明して接続詞becauseを選択する		60.8 39.0 0.2
		(4)	文脈から判断し、「伝統的な祭り」となるよう形容詞traditionalを選択する		77.4 22.3 0.2
	5	(1)	ポスターに書かれた情報から特定のイベントが開催される場所を読み取り、書き出しに続く語句を選択する	英語で書かれたポスターから、必要な情報を読み取る	92.2 7.6 0.2
		(2)	ポスターに書かれた情報からアイスクリームを入手する方法を読み取り、書き出しに続く語句を選択する		69.0 30.6 0.4
		(3)	与えられた複数の情報を整理して、午後に参加することができるイベントを示す適切な英文を選択する		61.2 38.4 0.5
	6	(1)	文脈から判断し、人物のしたいことを述べる英文を選択する	まとまりのある英語の対話文を読んで、概要を理解する	54.7 44.5 0.9
		(2)	文脈から判断し、友人が何時に家に戻るのか尋ねる英文を選択する		61.8 37.4 0.8
		(3)	文脈や資料から判断し、どのバスに乗りたいか述べる英文を選択する		40.7 58.1 1.2
		(4)	文脈と資料から判断し、目的地への到着時間を述べる英文を選択する		43.3 55.6 1.1
	7	(1)	書き手の考えについて読み取り、文脈に合うものを選択する	まとまりのある英語のスピーチ原稿を読んで、要点を理解する	84.1 15.3 0.6
		(2)	書き手が経験した内容を読み取り、適切な英文を選択する		68.3 30.9 0.7
		(3)	登場人物の心情を読み取り、適切なものを選択する		55.0 43.9 1.1
		(4)	全体を読み、書き手が学んだことに最も近い内容を表す英文を選ぶ		45.0 54.1 0.9
	III部 (書くこと)	8	(1)	「医者である」という3人称単数現在形の肯定文を正確に書く	与えられた情報に基づいて、適切な表現を用いて英文を正確に書く
(2)			「毎日納豆を食べる」という3人称単数現在形の肯定文を正確に書く	28.9 63.2 7.9	
(3)			「犬は好きでない」という3人称単数現在形の否定文を正確に書く	34.3 55.5 10.2	
9		(1)	文脈から判断し、赤ペンを貸してくれるように疑問文を単文で書く	与えられた会話のやり取りの内容から推測し、自分の発言として適切な英文を書く	24.3 49.5 26.1
		(2)	文脈から判断し、何時に寝たのかを尋ねる疑問文を単文で書く		21.2 59.5 19.3
		(3)	文脈から判断し、スタジアムへ行く目的を尋ねる疑問文を単文で書く		13.8 60.4 25.8
10		①	与えられた状況で、留学先として行きたい国とその理由について英文で書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く	40.6 43.5 15.9
		②			22.9 61.1 16.0
		③			44.7 39.2 16.1

7 市町別平均正答率

<小学校一覧>

	国 語					算 数				
	知識及び 技能	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	全体	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	全体
県全体	66	54	48	63	60	69	48	73	66	65
長崎市	67	55	51	64	62	69	49	72	66	65
佐世保市	61	51	48	59	57	65	44	76	65	62
島原市	70	59	47	66	63	77	50	74	69	71
諫早市	59	51	45	59	55	64	48	68	64	61
大村市	71	53	44	64	61	67	48	71	65	63
平戸市	68	55	48	67	62	75	49	67	64	68
松浦市	63	50	33	55	54	65	41	60	61	60
対馬市	60	49	48	59	56	71	47	73	65	66
壱岐市	69	60	57	63	64	74	49	71	68	68
五島市	62	47	41	56	55	66	44	73	66	63
西海市	65	51	43	62	58	68	43	71	67	64
雲仙市	69	52	48	62	61	76	52	72	67	70
南島原市	69	52	42	63	60	73	48	69	67	67
長与町	76	65	59	73	70	81	55	83	77	76
時津町	76	60	55	68	68	78	51	81	71	72
東彼杵町	76	62	46	72	67	80	49	84	73	73
川棚町	61	51	39	61	56	66	42	80	67	63
波佐見町	69	46	41	60	58	71	47	80	67	66
小値賀町	57	55	43	48	53	59	38	57	52	54
佐々町	75	64	46	71	67	77	63	71	69	73
新上五島町	71	58	47	71	65	66	47	71	68	64

<中学校一覽>

	国 語				全体	数 学				全体	英 語			
	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		数と式	図形	関数	資料の活用		聞くこと	読むこと	書くこと	全体
県全体	57	37	51	86	62	57	45	40	52	49	64	67	32	57
長崎市	58	37	52	86	62	57	45	41	51	49	65	68	34	58
佐世保市	53	32	47	82	58	49	39	33	46	42	61	62	25	52
島原市	57	34	53	86	62	60	45	46	61	53	62	66	32	56
諫早市	56	34	49	85	60	59	45	40	50	50	62	64	28	54
大村市	55	35	51	86	61	57	42	36	51	47	64	64	28	54
平戸市	55	33	48	87	60	56	43	40	54	48	68	67	31	57
松浦市	54	33	51	85	60	49	38	37	49	44	61	61	20	50
対馬市	57	33	49	86	61	59	42	38	47	48	60	60	26	51
壱岐市	55	38	46	80	59	53	43	41	49	47	63	64	26	53
五島市	56	42	47	84	61	56	44	36	50	48	65	68	37	59
西海市	55	37	51	83	60	52	39	41	47	45	64	62	23	52
雲仙市	55	35	52	89	62	61	44	40	52	50	64	66	32	56
南島原市	57	39	51	89	63	53	44	40	58	49	61	63	27	53
長与町	59	46	54	91	66	72	57	51	60	61	73	79	42	67
時津町	58	39	52	87	63	59	50	48	59	55	66	71	56	66
東彼杵町	54	48	46	90	63	61	42	46	58	52	69	69	49	64
川棚町	57	35	49	86	61	52	38	32	53	44	57	62	31	52
波佐見町	63	33	56	85	64	54	41	36	62	48	63	65	33	56
小値賀町	64	36	44	81	61	58	45	42	63	52	61	62	44	56
佐々町	54	32	48	86	59	53	39	39	50	45	66	72	40	61
新上五島町	57	43	54	88	64	59	47	41	62	53	63	64	20	51
県立中(3校)	80	68	72	99	82	90	81	78	82	83	85	94	69	85